

## 課題研究 III

## 文章を書いてみる授業のテキスト

1. イントロダクション .....	2
(1) 課題研究 III (前半) の目的と目標 .....	2
(2) パラグラフとパラグラフを構成する要素 .....	3
(3) ダメ文あるある .....	5
2. パラグラフ・ライティング実習① .....	7
(1) トピック・センテンスを書く練習 .....	7
3. 例示パラグラフ .....	9
(1) 基本となるルーティーン .....	9
(2) ブレインストーミング .....	10
(3) アウトラインづくり .....	10
(4) つなぎ言葉と文章化：例示パラグラフ (Illustration/Example Paragraph) .....	11
4. 例示パラグラフの練習 .....	13
(1) トピック・センテンスの良し悪し .....	13
(2) サポートイング・センテンスにあるといい情報 .....	14
[参考] 大学入試問題とパラグラフ・ライティング (興味ある人は読んでみましょう) .....	16
5. 比較・対象パラグラフと思考方法のバリエーション .....	17
(1) 比較・対照パラグラフ (Comparison and Contrast Paragraph) とは .....	17
(2) 比較・対照パラグラフの書法 .....	19

# 1. イントロダクション

## (1) 課題研究Ⅲ（前半）の目的と目標

### ① 百聞は一見に如かず

皆さんは自分の興味関心について問われたとき、こんな文章を書いていませんか？

私は国際交流に興味があり、その理由は中学校の時に英語ディベートに興味を持ち、高校ではシンガポールに短期留学したことで、これらの経験が英語をより学びたいというきっかけになっています。

英語は実際に使っていないとその本当の面白さには気づけないと思います。英語を国内で使っていた中学校の間はあまりありがたみを感じることはあまりありませんでしたが、高校生になって海外に行ったとき、意思が伝わるのがとてもうれしく感じました。

この授業はこんな風に読みやすく整った文章を書く技術を考える授業です<sup>1</sup>。

私が国際交流に興味を持つ理由は二つあります。一つ目は中学校の時に英語ディベートを経験したことです。二つ目は高校ではシンガポールに短期留学したことです。これら二つの経験が英語をより学びたいというきっかけになっています。

英語は実際に使っていないとその本当の面白さには気づけないと思います。中学生の時のように国内で英語を使う際、伝わらなくても困ることはないため、そのありがたみを感じることはあまりありませんでした。しかし、高校生になって海外では伝わらなかった時の悔しさや、伝わった時の達成感など味わうことができ、使うこと自体が非常に楽しくなりました。

### ② シラバス的なもの

本授業の目的は実用的文章の作文のテクニックを習得することであり、目標は二年次の課題研究の論文をブラッシュアップすることです。実際の研究活動はほとんど行わず、実用的な文章の文章作法に焦点を当てて取り組んでいきます。うまく応用すれば、受験勉強の最中、記述問題や小論文課題、自己推薦書などを書くのにも役立つことでしょう。

表 1 大まかな予定

回	内容
1	ガイダンス（パラグラフの説明）
2	トピック・センテンスとコントローリング・アイデア
3	例示パラグラフの書き方
4	例示パラグラフの作成練習
5	比較対象パラグラフの作成練習
6～8	これまでの成果物の相互採点
9～11	論文執筆
12	論文の相互採点

1 違いは次の三つ。①適切な長さの文章に区切っている。②理由があることを最初に宣言しており、一つ目の理由の始まりと、二つ目の理由の始まりを明らかに書いている。③比較対象の際に対応する要素を漏らさず含んでいる。

## (2) パラグラフとパラグラフを構成する要素

課題研究Ⅲの授業においては、次の表のように文章を文学的文章と実用的文章に分け、実用的文章の書き方を扱います。正確に考えを伝える文章の書き方を知っていると、記述式テストでの答案、自己推薦書や小論文を書くことなどに役立ちます。

表 2 課題研究Ⅲの授業における文章の分類

	文学的文章	実用的文章
定義	ことばの面白さを生かして考えや状況を伝える文章。	正確かつ誤解を生まない記述で考えや事象を伝えるための文章。
目的	いかに楽しませながら内容を伝えるか	いかに早く正確に内容を伝えるか
例	詩歌、純文学、随筆、小説	論文、評論、新聞記事

実用的な文章を用いて考えや事象を早く正確に伝えるためには、文章中の文の長さや順番に気をつける必要があります。今回は、インターネットに掲載されていた記事を分析しながら考えてみることにしましょう。

**作業 1** 次の文章 1 と文章 2 を読み、より早く意味を取れる文章はどちらであるか検討せよ。<sup>2</sup>

〔文章 1〕

T社は国内市場の先細りを背景に、販売店の系列ごとに拡販を進めてきた従来の手法を改め、また、都市部では自動車の「保有」から「利用」に消費者の意識がシフトしていることに対応、カーシェアの展開で、新車の販売を中心とした従来のビジネスからの転換に向けて“布石”を打つ。そのために2日、東京都内で直営の販売会社4社を2019年4月に合併させると発表するとともに、統合会社を利用して本格的なカーシェアリングサービスに参入する方針を明らかにした。

〔文章 2〕

T社は系列会社を再編し、新規事業参入に着手した。T社は2日、東京都内で直営の販売会社4社を2019年4月に合併させると発表した。さらに統合会社を利用して本格的なカーシェアリングサービスに参入する方針も明らかにした。国内市場の先細りを背景に、販売店の系列ごとに拡販を進めてきた従来の手法を改める。また、都市部では自動車の「保有」から「利用」に消費者の意識がシフトしていることに対応、カーシェアの展開で、新車の販売を中心とした従来のビジネスからの転換に向けて“布石”も打つ。

より早く意味を取れるものは \_\_\_\_\_ である。

わかりやすい実用的文章はセンスや感性ではなく、理論的に説明可能な構造を持っています。この理論を知っていれば、文章を書く際の作戦を立てやすくなります。また、自分で書いた文章をチェックするのも容易になります。試しに、次の **作業 2** で、分析を試みましょう。

<sup>2</sup> 2018年4月3日 SankeiBizをもとに作成。

**作業2** 次の表は作業1の文章1と文章2を一文ごとに分割した表である。これを見ながら(1)・(2)の作業を実施せよ。

	文	役割
文章1	T社は国内市場の先細りを背景に、販売店の系列ごとに拡販を進めてきた従来の手法を改め、また、都市部では自動車の「保有」から「利用」に消費者の意識がシフトしていることに対応、カーシェアの展開で、新車の販売を中心とした従来のビジネスからの転換に向けて“布石”を打つ。	( )
	1 そのために2日、東京都内で直営の販売会社4社を2019年4月に合併させると発表するとともに、統合会社を利用して本格的なカーシェアリングサービスに参入する方針を明らかにした。	( )
文章2	T社は系列会社を再編し、新規事業参入に着手した。	( )
	T社は2日、東京都内で直営の販売会社4社を2019年4月に合併させると発表した。	( )
	さらに統合会社を利用して本格的なカーシェアリングサービスに参入する方針も明らかにした。	( )
	国内市場の先細りを背景に、販売店の系列ごとに拡販を進めてきた従来の手法を改める。	( )
	また、都市部では自動車の「保有」から「利用」に消費者の意識がシフトしていることに対応、カーシェアの展開で、新車の販売を中心とした従来のビジネスからの転換に向けて“布石”も打つ。	( )

- (1) 文章1と文章2の一文の長さについて比較し、端的にまとめよ。
- (2) 各文の役割を次の中から選び、表の右端の「役割」の中に記号を書き込め。同じ記号を複数回用いても構わない。
- T. 段落の中で最も重要なできごとを端的に表している。
  - S. 最も重要なできごとが起きる理由を説明、もしくはできごとを具体的に説明しなおしている。



複数の文を集めて、一つの主張をなしている文の集まりを**パラグラフ**といいます。一つのパラグラフに含まれる文は、役割に応じて表2の三つに分類されます。

表3 パラグラフの構成要素

名称		役割
トピック・センテンス	<b>必須</b>	パラグラフの中で中心となる話題(トピック)と、そのトピックについての主張(コントローリング・アイデア)を含む文。パラグラフの最初に置くことが多い。
サポーティング・センテンス	<b>必須</b>	主張をより強く伝え、読み手に納得してもらうために、補足説明をする文。
コンクルーディング・センテンス	省略可	トピック・センテンスを簡潔に繰り返し、パラグラフ全体の要点を確認する文。もしくは、次のパラグラフへの接続をスムーズにする文。

**作業2**の(2)でT.をつけた文がトピック・センテンスで、S.をつけたのがサポーティング・センテンスになります。「一つのパラグラフに一つのトピック・センテンスを置き、一つの段落内の主張をうまくまとめる文章作法」は主に英米の文章でよく見られ、そのテクニックは**パラグラフ・ライティング**としてまとめられています。

### (3) ダメ文あるある

今回の残りの時間ではパラグラフ・ライティングの前に一文一文にスポットをあてます。ここでは、「ダメ文」といわれる、文法上での間違いはないのに、意味がわかりにくい文を取り上げて、文を分析したり、改善したりする習慣をつけてみましょう。

**作業3** 次の文を読んで、次の(1)~(3)に当てはまる人物を答えよ。

㊦ 警察官が観光中の男性が手に持った筒状の物体を銃と誤認し、射殺するという事件があった。

- (1) 筒状の物体を持っていた人物 ( )
- (2) 筒状の物体を銃と誤認した人物 ( )
- (3) 射殺した人物 ( )

この文では動作と動作主が離れすぎていて意味が伝わりにくくなっています。次のように機械的に語順を入れ替え、点の位置を変えると、ややわかりやすくなります。

㊦ 観光中の男性が手に持った筒状の物体を、警察官が銃と誤認し射殺するという事件があった。

修飾語と被修飾語や主語と述語のように関連の強い語は近い位置にある方がいいというのが分かりやすい文の基本です。



ダメ文あるある① 修飾語－被修飾語や主語－述語が離れている。  
修飾語－被修飾語は極力近づけよう！

**作業4** 次の文を読んで、次の問いに答えよ。

㊦ 水温実験の5℃の時に数値が下がったので、環境により反応が鈍くなる場合があることから、スピロストマムに適した環境で利用する方が、活動がしやすくなると考えられる。

注 スピロストマム … 微生物の一種

(問) なぜ、スピロストマムに適した環境で利用する方が、活動がしやすくなると考えられたのか。

この文では、接続助詞<sup>3</sup>でたくさんの理由をつないでしまっています<sup>4</sup>。文や節をつないでいいのは1回を原則とし、それ以上は一度文章を切った方が、ややわかりやすくなります。

㊦ 水温実験の5℃の時に数値が下がったので、環境により反応が鈍くなる場合があることが分かる。  
このことから、スピロストマムに適した環境で利用する方が、活動がしやすくなると考えられる。



ダメ文あるある② 接続助詞や連用形などで文をつなぎ過ぎている。  
つなぐのは一回にとどめよう。

3 接続助詞…助詞の種類の一つ。接続詞と同様のはたらきを持つもの。接続助詞以外に「○○であり、」、「○○し、」などの種々の活用の連用形もつなぎすぎの温床となる。  
3 各教科・科目でよく見られる「○○字以内で答えよ。」という類の問題に慣れすぎると、なんでも一文で書いてしまおうとする傾向が強くなる。

**作業 5** 次の文を読んで、主語と述語を抜き出し、それらを直結してみよ。

- (1) 仕事や学校、買い物などの日常生活において不便を感じる事は何かという問いに対する答えは、断食が困難という理由があげられた。

主語 ( ) 述語 ( )

直結 ( )

- (2) 装置 A と装置 B の違いは、電気を用いてエネルギーをためたのと、熱を用いてエネルギーをためたのとで異なる。

主語 ( ) 述語 ( )

直結 ( )

日本語には単文、複文、重文の三種類の文があり、主語や述語の数はそれぞれの文によって異なります。しかし、いずれの文においても原則は「主語と述語は組になっており、直結できる」です<sup>5</sup>。主語が多く存在したり、主語と述語が噛み合っていないかたりすると意味を取りづらくなってしまいます。

(1)は「あげられた」のは「断食が困難という理由」だと考えられます。そこで、「答えは」が主語に見えないように変えれば、主語や述語(波線部)が明確になり、文全体が伝わりやすくなります。

☞ 仕事や学校、買い物などの日常生活において不便を感じる事は何かという問いに対する答えには、断食が困難という理由があげられた。

(2)は主語と述語だけ抜き出すと「違いが異なる」となり、珍妙な文になっています。改善策として、次の二つの案が考えられます<sup>6</sup>。いずれも波線の部分だけで文として成り立っていることが重要です。

☞ 装置 A と装置 B は、電気を用いてエネルギーをためたのと、熱を用いてエネルギーをためたのとで異なる。

☞ 装置 A と装置 B の違いは、A では電気を用い、B では熱を用いてエネルギーをためた点である。



ダメ文あるある③ 主語と述語が直結できない。

長い文は一度読み返して、主語と述語を確認する習慣を身につけよう。

**作業 6** 次の文は論文においては不向きである。何が不向きなのか説明せよ。

- (1) 熱電併給における現状の課題の改善策を具体的に示すことが重要であると思った。

- (2) そこで、T 高校で実施したアンケートと同じものを実施させていただいた。

- (1) 論文は研究日誌ではなく主張をする文章です。ですから、奥ゆかしく「○○と思った」とぼやかさずに、意見を断言していくスタイルで書きます。断言できないなら、根拠なり論拠なりの説明不足を疑うべきで、論文を書く段階ではないのかもしれませんが。今回ならこうでしょう。

☞ 熱電併給における現状の課題の改善策を具体的に示すことが重要である。

- (2) 敬語表現も論文では最後の「謝辞」を除いては厳禁です。なので、実際はどれだけ丁寧をお願いしたことだとしても敬語表現を入れずに次のように書きます。

☞ そこで、T 高校で実施したアンケートと同じものを実施した。



ダメ文あるある④ 思っている。論文での説明責任を果たさない。

論文では奥ゆかしい表現は厳禁である。断言していけるように理詰めしよう。

<sup>5</sup> 執拗な反復を避けるために主語が省略されることがあるが、論文では可能な限り主語を省略しない方がよい。

<sup>6</sup> 「違いが異なる」は「馬から落馬」「頭が頭痛」などと同じようなものかもしれない。

## 2. パラグラフ・ライティング実習①

今回はパラグラフについて説明しました。

### 【復習】パラグラフ

複数の文を集めて、一つの主張をなしている文の集まりをパラグラフといいます。一つのパラグラフに含まれる文は、役割に応じて表3の三つに分類されます。

表4 パラグラフの構成要素

名称		役割
トピック・センテンス	必須	パラグラフの中で中心となる話題（トピック）と、そのトピックについての主張（コントローリング・アイデア）を含む文。パラグラフの最初に置くことが多い。
サポーティング・センテンス	必須	主張をより強く伝え、読み手に納得してもらうために、補足説明をする文。
コンクルーディング・センテンス	省略可	トピック・センテンスを簡潔に繰り返し、パラグラフ全体の要点を確認する文。もしくは、次のパラグラフへの接続をスムーズにする文。

今回はトピック・センテンスを書く練習を行って、パラグラフを書く準備に入ろうと思います。

### (1) トピック・センテンスを書く練習

#### ① トピック・センテンスをなす二つの要素

上の表2にも示しましたが、トピック・センテンスは

- ・ パラグラフの中で中心となるトピック（題材）
- ・ そのトピックについてのコントローリング・アイデア（主観的な意見）

の二つが含まれている文のことを指します。コントローリング・アイデアはその名の通り、その後の話題をコントロールするために付けます。例えば、次のような文章がトピック・センテンスになりうるといえます。例を見てみましょう。

例 a スノーボードは私の最も大好きなウィンタースポーツです。

※  で囲まれた部分がトピック、波線を付した部分がコントローリング・アイデア。

この例は、

題材           スノーボード  
主張           私がスノーボードを好きであること

とみることができます。その後続く文は好きなポイントや好きになった経緯についての説明であることが推測できます。

b 携帯電話が便利だと思う理由は三つある。

この例は

題材           携帯電話が便利だと思う理由  
主張           （私にとって、）その理由は三つあること

となります。題材が少し長めになっていますが、特に問題ありません。この後には理由三つの説明や四つ

目以降がないことなどが続くのでしょう。

c 外国語を習得するのは難しいが、退屈はしない。

この例は

題材 外国語を習得すること

主張 (私にとって、) 難しいが、退屈はしない

となります



トピック・センテンスの構成

話題と意見の両方を含んで、一文で言いたいことを主張しよう！

→ ワークシート② 2

② よいトピック・センテンスを書くためのポイント。

トピック・センテンスはパラグラフ全体の話題を方向付ける役割も持っています。ですので、その役割がぼやけてしまうものは、トピック・センテンスとしては不適だといえます。よいトピック・センテンスの例を取り上げてみましょう。

a トピックが一つである。

- × 友達を多く作ることに、学校で楽しく過ごすことは大事である。
- 一生付き合ひの続く悪友を持つことはとても大切だと思う。

b 本人固有の意見が含まれる。

- △ 私は野球部に所属している。(所属しているのは意見ではない。)
- 野球部で練習に励むことは、体力作りだけでなく、自信にもつながる。(そう思わない人もいる)

c コントローリング・アイデアが広すぎて、その後、何でも書いてしまう。

- × アメリカは楽しい国だ
- アメリカには様々な観光名所があり、何度いっても飽きない。

d コントローリング・アイデアが狭すぎる、または、事実を書き表しただけで、そのあと、説明の余地がない。

- × 7時間目は15:10に始まる。
- 7時間目は一日の中で集中力が下がってきたころに始まる。



トピック・センテンスをうまく書く秘訣

書いた後に改めて読み返して、自分独自の見方が含まれているのか確認してみよう。

→ ワークシート② 3 4



### 3. 例示パラグラフ

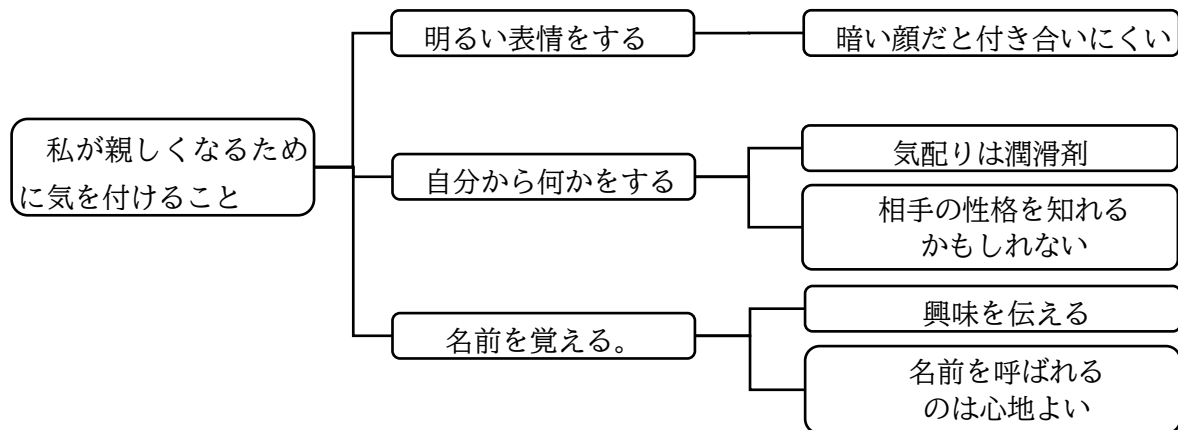
#### (1) 基本となるルーティーン

実用的文章を用いて、筆者の考えを誤解のないように伝えるためには文の長さや文の配列、そして各文の役割が鍵となります。つまり、実用的文章を書くコツはセンスを磨くことではなく、理論に裏打ちされた戦略を知ることだと言えます。その戦略の代表例となるのが「パラグラフ・ライティング」です<sup>7</sup>。

パラグラフ・ライティングとはトピック・センテンス、サポーティング・センテンス、コンクルーディング・センテンスという機能を持った短い文を並べて、パラグラフを形成する手法です。百聞は一見にしかずということで、パラグラフ・ライティングで書かれた例を次に示します。

私が知り合った人と親しくなりたいたいと考えたとき、四つのことに気を付けている。まず、一つ目は親しみを持って、明るい表情をすること。親しい人が暗い顔をしていると、心配してくれるかもしれない。けれども、親しくもない人が暗い顔をしていても前向きな話をしようとは思わないはずだ。二つ目に、自分から何かをすること。ほんの些細な気配りが、潤滑剤となって働くことは多い。たとえば、余計なお世話に感じられてしまうのであったとしても、その人の感性がわかり、その後のコミュニケーションには役立つはずだ。三つ目はいち早く名前を覚えることである。その人に興味を持っていることをいち早く伝えられるし、人にとって自分の名前は最良の音楽だと聞いたことが（…以下略）

この文章は次のような構成になっています。



このように主張を端的に示して、例を示しながら具体的な説明を展開していくパラグラフを「例示パラグラフ」と呼びます。今回は自己推薦文<sup>8</sup>の執筆を通して、高度に整理されたスキのない文章を書くための手順を学んでみましょう。

<sup>7</sup> この段落もパラグラフ・ライティングで書かれている。

文	役割
実用的文章を用いて、筆者の考えを誤解のないように伝えるためには文の長さや文の配列、そして各文の役割が鍵となります。	主張（トピック・センテンス）
つまり、実用的文章を書くコツはセンスを磨くことではなく、理論に裏打ちされた戦略を知ることだと言えます。	言い換えて補強（サポーティング・センテンス）
その戦略の代表例となるのが「パラグラフ・ライティング」です。	パラグラフ・ライティングという新しい語句を示して、次の段落への接続（コンクルーディング・センテンス）

<sup>8</sup> 自己推薦文を書くことは、自身の強みや弱みをより深く認識することにつながり、やがては自身のキャリア形成や自己推薦文を書く際の大きな武器となる。

## (2) ブレインストーミング<sup>9</sup>

作文というتماず書き始めて詰まったところで、考えたりする人が多いのですが、パラグラフ・ライティングには入念な準備が必要です。まずは書きたいことを探し、リストに書きだしていきます。思いついたことを最終的に採用するかどうかは後で検討することとして、頭に浮かんだことはとりあえず書き留めておきます。

例として「親しくなる秘訣」というテーマのエッセイを書く時のリストを以下に示します。

- テーマ 「親しくなる秘訣」
- ・ 明るい表情をする、暗い顔をしない
  - ・ 自分から動く
  - ・ いち早く名前を覚える
  - ・ 話を聞くときは目をちょくちょく見る

これにならって作業7に取り組んでみましょう。

### 作業7 ブレインストーミング

- (1) 大学入試の自己推薦文を念頭に自分の強みを10以上列挙せよ。
- (2) (1)で列挙した中から、推薦文に実際に使おうと思う強みを6つ選び、ワークシート③の中項目の欄に記入せよ。なお、ワークシートはすべて他人も読むので、読みやすい文字で、読まれてもよい内容を書くこと。

(2) 2分

→ ワークシート③ 1

## (3) アウトラインづくり

ブレインストーミングでポイントを列挙しましたが、これをそのまま文章として書き連ねても、その考えの背景や理由などが不明瞭なままです。そのため、次の作業で説得力を増すために、その考えの背景や理由付けなどを検討していきます<sup>10</sup>。自分自身で「なぜ？」という問いかけを繰り返してみましょう。先ほどの例では次のようなものが考えられます。

- テーマ 「親しくなる秘訣」
- ・ 明るい表情をする、暗い顔をしない
    - なぜ？  
→ 初対面で暗い人とポジティブな関係を作るのは難しい

<sup>9</sup> ブレインストーミング(Brainstorming：BS法)・・・集団でアイデアを出し合うことで意見の交錯で生じる連鎖反応や発想の誘発を期待する課題抽出に適した発散的集団思考法の一つ。よいアイデアを生む会議の分析を通してアレックス・オズボーン(英)が提唱(1953年)。最近は一人でやる人もいる。今回は一人で挑戦する。

<sup>10</sup> 課題研究では「三角ロジック」として、主張には「根拠(事実)」と「論拠(解釈)」の二種類の理由を同時に添えることが重要と学んできた。今回のアウトラインづくりでは、大項目を主張と考えて、中項目と小項目の中に論拠と根拠を含めるように設計する。

- ・ 自分から動く  $\xrightarrow{\text{なぜ?}}$  気配りをしていやがる人は少ない
- ・ いち早く名前を覚える  $\xrightarrow{\text{なぜ?}}$  名前を憶えようとした=興味があるとなるはず
- ・ 話を聞くときは目をちよくちよく見る  $\xrightarrow{\text{なぜ?}}$  聞きたいという意味が伝わる

この段階で反論にも気を配っておきましょう。「本当に？」という問いかけを繰り返してみましょう。例を次に示します。

- ・ 自分から動く  $\xrightarrow{\text{なぜ?}}$  気配りをしていやがる人は少ない  
 $\xrightarrow{\text{本当に?}}$  もし嫌がる人でも、気配りを嫌がる人ということがわかると、そのあと気を付けることができる

#### 作業8 アウトラインづくり

- (1) 作業7で記入した中項目について、背景や理由を考え小項目の欄に記入せよ。
- (2) (1)に続いて、反論にも気を使った掘り下げを行い、小項目の欄に追記せよ。  
 (1), (2)併せて8分
- (3) ワークシート③を隣近所の人と交換して、他人のワークシートに目を通し、まだ掘り下げできそうなところがあれば赤ペンで書き込め。
- (4) 自分のワークシートを回収したのちに、反論に対して答えられることがあれば追記せよ。  
 (3), (4)併せて5分

→ ワークシート③ ①

#### (4) つなぎ言葉と文章化：例示パラグラフ (Illustration/Example Paragraph)

アウトラインから文章化する際に、それぞれの項目の接続を考えます。今回、皆さんが挑戦している例は自分を推薦する理由をより具体的に示すものなので、「例示パラグラフ」とよべれます。実用的文章では「要点をいかに早く正確につかませるか」がカギになりますので、よく用いられる接続パターンが用いられます。

##### 例示パラグラフのつなぎ言葉

- (1) 第一に……。第二に……。第三に……。
- (2) なぜなら、……。
- (3) 例を挙げると、……。
- (4) 例えば、……。

先ほどの「親しくなる秘訣」の例では以下のようになっています。

私が知り合った人と親しくなりたいと考えたとき、**四つのことに気を付けている**。まず、**一つ目は**親しみを持って、明るい表情をすること。親しい人が暗い顔をしていると、心配してくれるかもしれない。けれども、親しくもない人が暗い顔をしていても前向きな話をしようとは思わないはずだ。**二つ目に**、自分から何かをすること。ほんの些細な気配りが、潤滑剤となって働くことは多い。たとえば、余計なお世話に感じられてしまうのであったとしても、その人の感性がわかり、その後のコミュニケーションには役立つはずだ。**三つ目は**いち早く名前を覚えることである。その人に興味を持っていることをいち早く伝えられるし、人にとって自分の名前は最良の音楽だと聞いたことが（…以下略）

このようにパラグラフの性格を考えて、適切な接続パターンにはめていくと文章を書くのが容易になりますし、逆に読む場合も楽になります。この辺りは英語の長文読解で「パラグラフ・リーディング」として学ぶ機会があるかもしれません<sup>11</sup>。

### 作業9 仕上げ

作業8で仕上げたアウトラインを用いて、ワークシート④に自己PR文をかけ。今回は文字数を問わない。ただし、以下の点に気を付けること。

- ① アウトラインに書いた中項目の中でそこまで重要でないのならば、3つまでは削ってもよい。
- ② ワークシートはすべて他人も読むので、読みやすい文字で、読まれてもよい内容を書くこと。

➡ ワークシート④

15分

<sup>11</sup> 知らず知らずの間に教わっているかもしれないから、普段の授業を注意深く振り返ってみたり、過去に使った教材をもう一度見返してみたりするとよいと思う。

## 4. 例示パラグラフの練習

パラグラフ・ライティングの基本はとにかく準備をすることです。アイデアが出尽くすまで考えて、きちんと整理した上で文を繋いでいきます<sup>12</sup>。単語から単純な文を作って<sup>13</sup>、それらを繋げるので、無駄な語句や余計なフレーズで文の意図が曖昧になるのを防ぐことができます。入念な設計によって、読み手のストレスを省き、誤解のない伝達をするのがパラグラフ・ライティングの基本姿勢です。

今回は工程ごとに説明を行いましたが、今回は一気に書き上げてもらいます。パラグラフ・ライティングはわかりやすい手法ですが、一度体験しただけではなかなか身につけません。反復することによって、しっかりと定着させましょう。

### (1) トピック・センテンスの良し悪し

今回は「あなたが卒業後の進路に〇〇大学進学を志望する理由<sup>14</sup>」というテーマで例示パラグラフを書いてみましょう。すでに志望理由がはっきりしている人もいると思いますし、全然考えたこともない人もいでしょう。どちらにせよ、今回はパラグラフ・ライティングの実習なので、一度冷静にブレインストーミングから手順通りに書いてみましょう。

志望理由の中でも将来の夢、過去の体験、自分の技能特性などといった様々な視点があると思います。トピック・センテンスには、どのような視点で主張するのかを含む必要があります。その視点の絞り込みに必要なのが、第2回で学んだコントローリング・アイデア Controlling Ideas です。

例) 私は〇〇大学を志望する。

→ 私は××の分野で優れた研究を行っている〇〇大で学びたいので、〇〇大を志望する<sup>15</sup>。

いきなりコントローリング・アイデアありきになると、たくさんのアイデアを出すことが難しくなるので、まず最初にブレインストーミングを行って、その後、出たアイデアからコントローリング・アイデアを選ぶとよいでしょう。

参考までに、トピックが複数あったり、コントローリング・アイデアを含まなかったりする、あまり望ましくないトピック・センテンスの例を次の表に再度挙げておきます

<sup>12</sup> 記述問題を解く際に、問題をパターンで認識して、脊髄反射的に書いていないだろうか？言いたいことを整理してから作文するということは日常の様々なところで必要である。ぜひ振り返ってみてほしい。

<sup>13</sup> 単純な文ばかりでは複雑な思考が表現できないというのは妄想で、どんな複雑な論理でも簡単な文の連続で表すことができる。「単語が難しくて意味を理解しづらい」と「文の構造が複雑で意味を理解しにくい」のは異なる。

<sup>14</sup> 俗にいう「志望理由書」である。進路は①今の時期に改めて考えてほしい話題であり、②あまりまとまった文章にしたことがなく、③自分自身を振り返ることと先方の特徴（アドミッション・ポリシーを含む）をうまくとらえることが必要で、④なおかつ他者と意見交換することで新しい発見がある。そういうテーマでもある。

<sup>15</sup> ここまで核心に迫った文を冒頭におくのがはばかれる場合は、トピック・センテンスをパラグラフ末尾にもってきてよい。

内容	例
① 主題（トピック）が複数ある。	(不良) 適度な睡眠と適度な運動は健康に大切である。
② 一般的な事実のみで筆者特有の主張がない。	(不良) 私は野球部に所属している。 (事実のみであれば、他人にも書ける)
	(良) 私は野球に人生のすべてをかけている。 (意識は本人しか書けない)
③ コントローリング・アイデアがなく、漠然としすぎている。	(不良) アメリカは楽しい国だ。
	(良) アメリカには様々な観光名所があり、何度行っても飽きない。 (外国客としての視点)
④ 話題を広げようがない。	(不良) 7時間目は15:10に始まる。
	(良) 7時間目は昼下がりの睡魔が襲ってくるころに始まる。 (集中が難しいという視点)

志望理由書を書く際には、大学のアドミッション・ポリシーに合致するようにコントロール・アイデアを設定する必要があります。アドミッション・ポリシーとは、入学者受け入れ方針のことで、大学の特色や理念に基づいて、どのような学生を求めるとかをまとめたもののことをいいます<sup>16</sup>。大学へ提出する志望理由書では、自分がいかに大学の求める学生像に近いかをアピールする必要があるため、このアドミッション・ポリシーに合致するように書くことが求められます。今回はアドミッション・ポリシーを踏まえて課題に取り組んでみましょう。

アピールの方法は、文書の種類によって少しずつ異なります。自己推薦文であれば、自分の経験や、力を入れてきたことを踏まえて、自分はまさに大学の求める学生像そのものである、と主張するのが良いでしょう。今回は志望理由書ですので、大学が掲げるアドミッション・ポリシーに共感する、という筋書きでコントロール・アイデアを設定することができます。大学が求める学生像は、まさに私が将来なりたい学生像と同じである、ということが言えれば、アピールとしては効果的です。

## (2) サポート・センテンスにあるといい情報

サポート・センテンスが薄っぺらいものにならないためには、「なぜ？」を繰り返すことが重要だと前回の講義で紹介しました。理由の内容は次のように「事実」と「解釈」の二種類に分けられます。

事実：昔、大病を患った際に、お医者さんがすごく励ましてくれた。

解釈：ただ病気を治すだけでなく、他人のことを思いやれる人ってかっこいいと思った。

主張：だから、多くの人を笑顔にできる医者になりたい。

いうまでもないことですが、理由をたくさん考える中で「事実」と「解釈」をバランスよく含むことが重要です。かといって、いつもいつも、みんなそんなに律儀に文を書いているのかということそうではないこともあります。次のような解釈は当たり前すぎますので、実際は省略されます。

事実：このマンションは駅から徒歩5分なのに、お安い。

解釈：安くて便利なのはお得である（←当たり前すぎる）

主張：だから、このマンションはお得物件だ

省略可能か不可能かの判断には経験が必要になってきます。書いては他人に読んでもらい、通じているかどうかをチェックしてもらって習慣を身につけましょう。

<sup>16</sup> 豊中高校に入学する際、自己申告書を書くために豊中高校のアドミッション・ポリシーについて考えた人も多いだろう。

**作業10** 例示パラグラフの練習（30分）

パラグラフ・ライティングの基本ルーティーンに沿って「あなたが〇〇大学進学を志望する理由」をテーマにあなたの意見を表す文章を書きなさい。ただし、コントロールリング・アイデアが大学のアドミッション・ポリシーに合致するように書くこと。

※ クラスで回し読みする可能性があるため、他者に見せても良い内容で書くこと。必ずしも、真実を書く必要はなく、本当の志望校でなくても良い

<手順とワークシート>

- ①ブレインストーミング→ワークシート⑤      ②アウトラインづくり →ワークシート⑥  
 ③文章化 →ワークシート⑤

<アドミッション・ポリシーの調べ方>

ほとんどの大学のアドミッション・ポリシーは、大学の公式サイトや入試の出願要項などに載っているため、インターネットなどで検索すれば見ることができる。例を下に挙げる。

○ 東京大学のアドミッション・ポリシー（課題制作者による要約）

使命	国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる「世界的視野をもった市民のエリート」（東京大学憲章）を育成すること
教育理念	自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野を持ち、高度な専門知識を基盤に、問題を発見し、解決する意欲と能力を備え、市民としての公共的な責任を引き受けながら、強靱な開拓者精神を發揮して、自ら考え、行動できる人材の育成
入学する学生への期待と要求	健全な倫理観と責任感、主体性と行動力を持っていることが期待され、前期課程における教養教育（リベラル・アーツ教育）から可能な限り多くを学び、広範で深い教養とさらに豊かな人間性を培うことが要求される

○ 京都大学のアドミッション・ポリシー（課題制作者による要約）

基本理念	対話を根幹とした自学自習
教育理念	学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てること
求める人	優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人
求めるもの	1.高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力 2.高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力 3.外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

➡ ワークシート⑤, ⑥

**作業11** 振り返り

「パラグラフ・ライティングの手順の中で、一番重要と考える段階」を主題にパラグラフを書きなさい。ただし、パラグラフであるからには必要な素材を必ずそろえること。

➡ ワークシート⑥

**参考** 大学入試問題とパラグラフ・ライティング（興味ある人は読んでみましょう）

大学入試問題においても、パラグラフ・ライティングの考え方は非常に役に立ちます。ここでは、大学入試問題を眺めながら、パラグラフ・ライティングで学んだ戦略を振り返ってみましょう。

2014年の一橋大学の入試問題を題材にしたページ  
著作権の関係で省略



## 5. 比較・対象パラグラフと思考方法のバリエーション

ここまでは例示パラグラフを取り上げて、ブレインストーミング、クラスタリングとアウトライン作成を学びました。文章を作成するのに、いきなり本文に取り掛かるのではなくて、要素を列挙して取捨選択したり、それらを整理したりすることが重要でした。今回は例示パラグラフ以外のパラグラフを取り上げて、トピック・センテンスのバリエーションやクラスタリング以外の整理方法を学んでみましょう。

### (1) 比較・対照パラグラフ (Comparison and Contrast Paragraph<sup>17</sup>) とは

今回は、比較・対照のために書かれた文章を分析することから始めましょう。次の作業を行ってみてください。

**作業 12** 次のパラグラフを読み、問いにしたがって分析せよ。

~~~~~  
A 社の問題集は基本問題が非常に多くて 860 円であり、B 社の問題集は 1000 円だが 300 ページもあって分厚い。だから、大学入試には B 社の問題集をおすすめする。

~~~~~  
(1) トピック・センテンスを抜きだし、トピックとコントローリング・アイデアに分けよ。

トピック \_\_\_\_\_ コントローリング・アイデア \_\_\_\_\_

(2) 次の表をまとめよ。記載のない場合は、“-”を記入せよ。

	A 社の問題集	B 社の問題集
価格	①	②
問題の種類	③	④
ページ数	⑤	⑥

**作業 12**のような文章は、大学入試の記述問題の解答でもよくみられます。残念ながら、得点化するとすれば、なかなか満点を与えにくい文章です。では、どのように書けばよかったのでしょうか？

ある二者で似ている点や違いを記すパラグラフのことを比較・対照パラグラフといいます。さっきの例では A 社の問題集と B 社の問題集の違いを記しています。

比較・対照パラグラフを書く時に重視することはパラレリズム<sup>18</sup>です。パラレリズムとは文学的な修辞法の一つで、項目の順序を統一し、一定のリズムを持たせる技法のことを言います。例えば

○ おじいさんは山へしば刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました

と書くと、いずれも「人、場所、行動」の順になっていますので、パラレリズムが用いられている例となりますが、これを

× おじいさんはしば刈りのために山に登り、おばあさんは川に洗濯に行きました

と書くと、何かぎこちない感じがします。

パラレリズムを用いるためには、文章で書きたい要素をきちんと整理することが重要です。例示パラグ

<sup>17</sup> Comparison は似ている点を比較する、Contrast は違いを比較する。

<sup>18</sup> パラレリズム (対句法, 平行構造, 平行体, 並行体, Parallelism)。ここでは例を簡略化するため、一文になっているものを挙げたが、厳密には 2 つの文以上にまたがっているものを意味する。

ラフの時はクラスタリングという手法を用いましたが、比較・対象パラグラフは比較表という手法を用います。**作業 12**の(2)でまとめた表がそれにあたります。(2)で比較表にまとめた際に記載がない項目があったと思います。このような不完全な比較表をもとに文章を書かないというのが鉄則です。

作業 12 の文章はそれぞれの問題集について価格、ページ数、問題の種類の順になるように書き換えれば、わかりやすい文章となります。

~~~~~  
 \ A 社の問題集は 860 円であり XX ページあるが基本問題が非常に多い。B 社の問題集は 1000 円だが  
 \ 300 ページもあって、入試の過去問が多い。だから、大学入試には B 社の問題集をおすすめする。  
 ~~~~~

**作業 13** ダメな比較・対照パラグラフを分析する。

実際の入試問題に対する [解答例①] と [解答例②] を読み、その内容について、ワークシート(1)の様式に沿って「比較表」の空欄に当てはまる言葉を入れましょう。

著作権の関係で省略

[解答例①]

アウラングゼーブはアクバルが拡大した領土をさらに広げ、南端を除く全インドを統一して帝国の領土を最大としたが、イスラーム教徒以外に課せられる税金（ジズヤ）を復活させ、イスラーム教を強制しようとしたためヒन्दゥー教徒の反乱がおこった。

[入試問題例②生物]

著作権の関係で省略

[解答例②]

A のグループは多細胞生物で、細胞壁があり、組織の分化が見られるのに対し、B のグループは多細胞生物で、動かないが光合成は行わず、外部の有機物を利用して栄養を摂取する。

➡ ワークシート ⑦

## (2) 比較・対照パラグラフの書法

### ① 比較表を書く

比較・対照パラグラフの書き方を紹介します。ここではロックバンドなどで用いられる「エレキギター」とクラシックや弾き語りで使う「アコースティックギター」を取り上げます。

まずは比較表を書くところから始めます。比較表には比較・対照項目と対象を書きおきます。この比較・対照項目を並べることが重要です。

項目	エレキギター	アコースティックギター
構成		
発音原理		
ボディ		
附属品		
電気		

その後、各項目について、それぞれの特徴を書いていきます。共通の特徴なのか対照的な違いなのかを考えながら書くとよいでしょう。ビジュアル・マッピングよりも文に近い形をしていますから、やりようによってはアウトラインづくりを省略することもできると思います。

項目	エレキギター	アコースティックギター
構成	弦（大体6本）、ネック、ボディ、	
発音原理	弦をはじいて、弦を振動させて音を出す（撥弦楽器）	
ボディ	中は空洞でない	共鳴させるために空洞になっている
附属品	アンプ・フットペダル・ピックなど	ピックなど
電気	必要	不要
価格	平均するとアコギに比べて廉価	安いものは安い、高いものは高い
表現力	アンプ、ペダル、レバー、エフェクタなど周辺機器の使用法に大きく依存	弦やピック、ボディなど本体の種類に大きく依存

### ② 比較表を縦に読むか、横に読むか…：「ブロック・スタイル」と「ポイント・スタイル」

比較・対照パラグラフで、比較表から文章を起こすとき、縦方向と横方向の二方向からアプローチができます。一つ目は比較表を縦に読み、対象の特長を一気にまとめていくスタイルで、ブロック・スタイルとよばれます。

①エレキギターはアコースティックギターに比べ、大きな可能性を感じることができる。②アコースティックギターは弦やネック、ボディからなり、弦の振動をボディで増幅して音を出す。この原理だと、発音から音が減衰していく間はほとんど音を加工することができないため、本体の材質や形状によって音色を変える程度にとどまってしまう。③一方でエレキギターは弦やネック、ボディといった本体に加え、アンプやフットペダルなどを有する。これらのアクセサリによって、発音から音が減衰していく間も音にひずみを加えるなど、音色を加工することが可能である。したがって、エレキギターの方に大きな可能性を見出すことができる。

<概要>

① トピック・センテンス（筆者の主張）

- |                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| ② エレキギターの説明                   | ③ アコースティックギターの説明 |
| ④ コンクルーディング・センテンス（筆者の主張の言い直し） |                  |

もう一つは比較表を横に読み、比較項目ごとに丁寧に比べていくスタイルで、ポイント・スタイルとよばれます。

①エレキギターはアコースティックギターに比べ、大きな可能性を感じることができる。②弦やネック、ボディといった本体は共通であるがエレキギターにはアンプやフットペダルなどのアクセサリがある。③双方とも、弦をはじいてボディで音を増幅する原理は同じであるが、エレキギターはアクセサリによって、音が減衰中にも音にひずみを加えるなど、音色を加工することができる。④したがって、エレキギターの方に大きな可能性を見出すことができる。

<概要>

- ① トピック・センテンス（筆者の主張）
- ② 構成の共通点と違い
- ③ 音色の変化について
- ④ コンクルーディング・センテンス（筆者の主張の言い直し）

ブロック・スタイルだと一つの対象について特徴をテンポよくまとめられますが、比較したいポイントが文章の中で離れてしまい、違いや共通点がぼやけてしまう傾向があります。一方で、ポイント・スタイルは、比較したいポイントについて違いや共通点を明確にすることができる反面、何度も何度も対象の名前を繰り返してしまいがちで、テンポよくまとめづらいことがあります。それぞれに長所も短所もありますから、主張したいことに合わせて選ぶことが大事です。

#### 作業 14 比較・対照パラグラフ

- (1) 次の①～③の中からテーマを一つ選び、そのテーマに沿って比較表を作成せよ。ただし、比較項目を8点以上挙げること。
  - ① スーパーマーケットとコンビニエンスストア
  - ② お米とパン
  - ③ 結婚する・しない
- (2) 比較表を見ながら、トピック・センテンスを考えよ。ただし、今回はコントローリング・アイデアに「可能性を見出すことができる」は禁止する。
- (3) (1)・(2)を踏まえて、比較・対照パラグラフを記せ。その際、ブロック・スタイルとポイント・スタイルの両方を示すこと。

➡ ワークシート ⑧